



2018年3月期 決算説明会資料

因幡電機産業株式会社 東証一部：9934

2018年6月11日

- 2018年3月期 決算概要
- 今後の事業戦略
- 2019年3月期 業績予想
- 株主還元

見通し、計画、目標等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

連結損益計算書

(百万円)

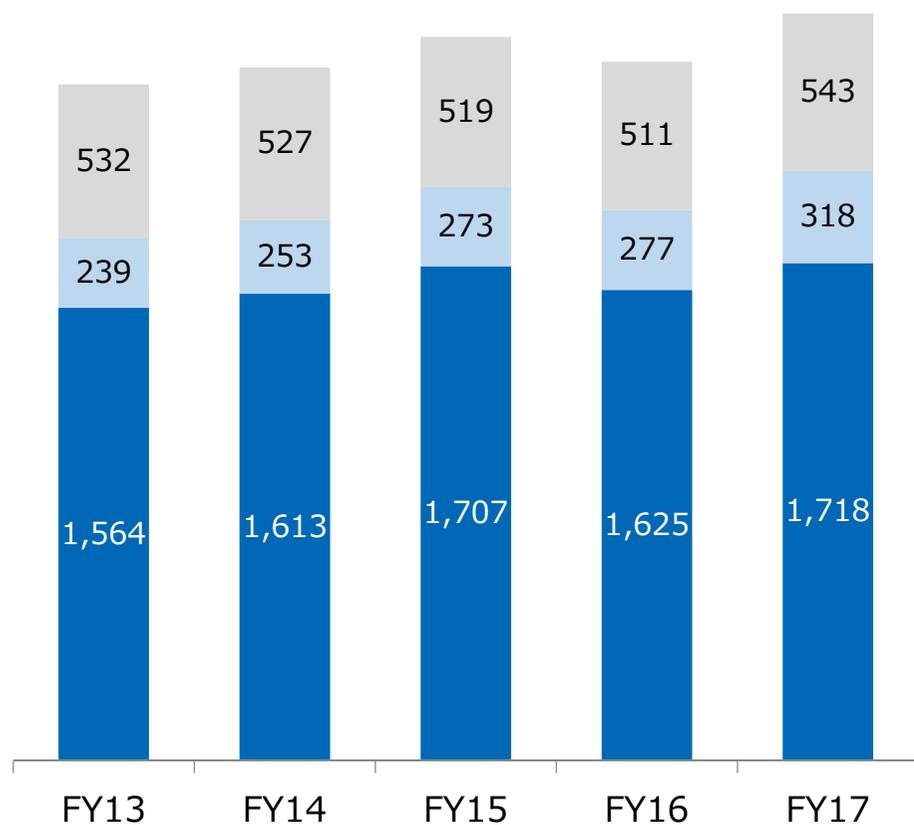
	FY16	構成比	FY17	構成比	増減額	増減率
売上高	241,417	100%	258,107	100%	16,689	6.9%
売上総利益	38,377	15.9%	41,317	16.0%	2,939	7.7%
販管費	25,996		27,938		1,941	7.5%
営業利益	12,381	5.1%	13,378	5.2%	997	8.1%
営業外損益	135		180		45	
経常利益	12,516	5.2%	13,559	5.3%	1,042	8.3%
特別損益	229		-76		-305	
税金等調整前 当期純利益	12,746	5.3%	13,483	5.2%	737	5.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,169	3.4%	8,866	3.4%	696	8.5%

セグメント別 業績推移

■ 電設資材 ■ 産業機器 ■ 自社製品

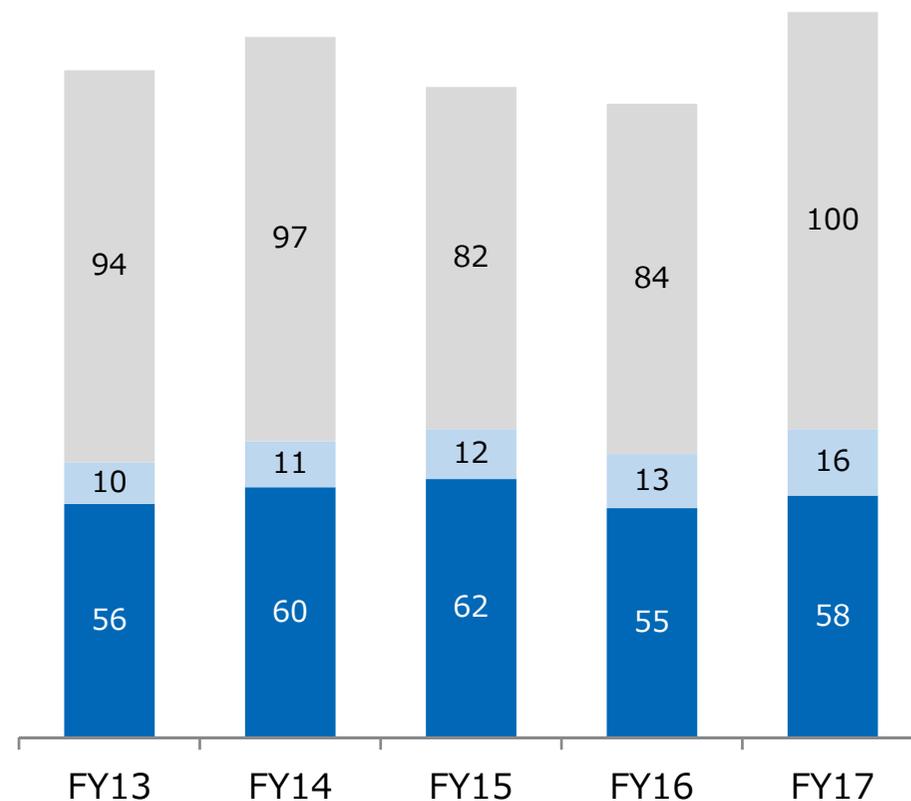
売上高

(億円)



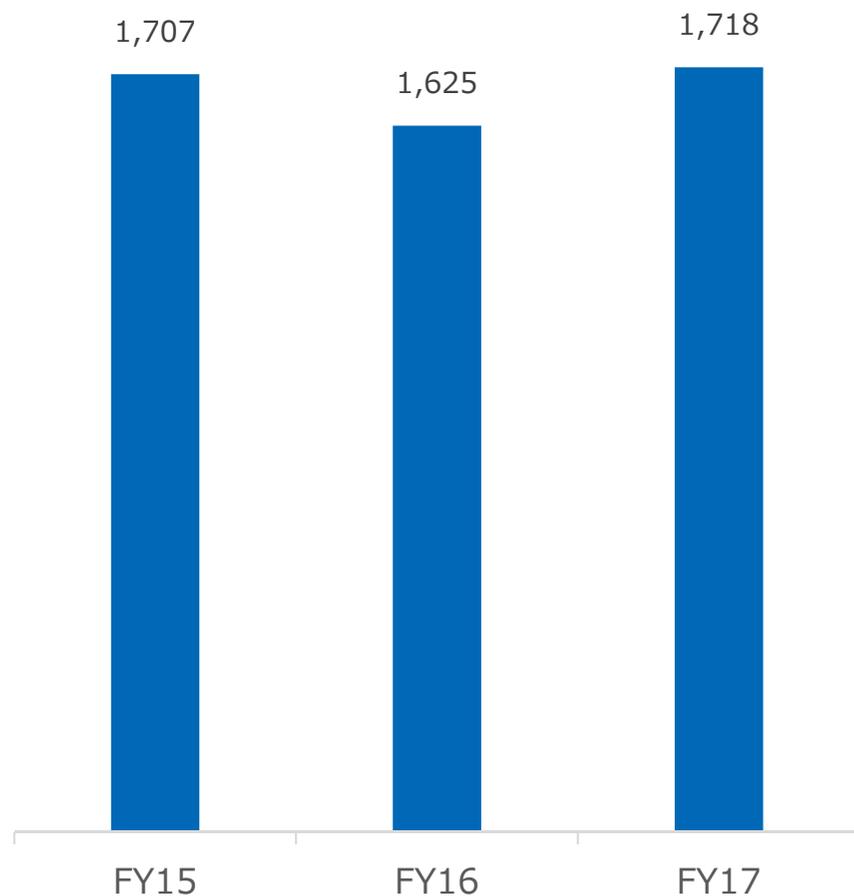
セグメント利益

(億円)



売上高

(億円)



売上高 前年同期比+5.8%

銅価格の上昇に伴う販売単価の上昇により電線ケーブル類が増収となったほか、受配電設備やエアコンなどの販売が堅調に推移。

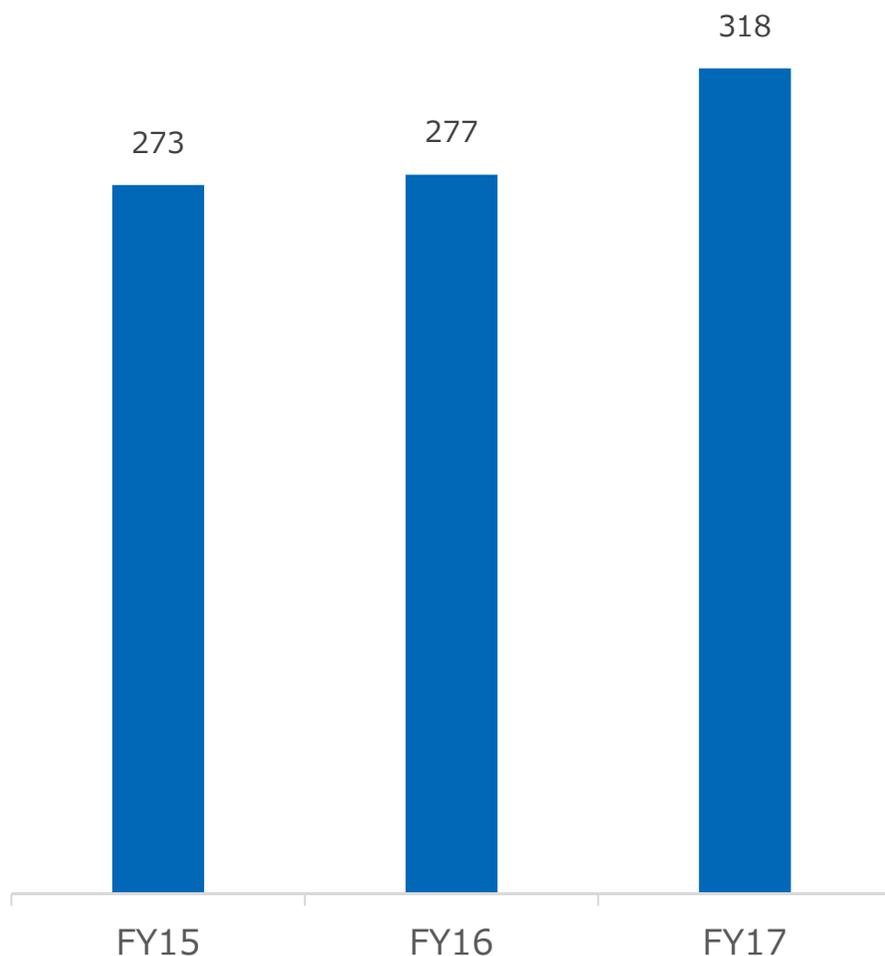
参考指標

	前年同期比	
	FY16	FY17
民間非居住建築物 着工床面積	+2.3%	+4.4%
新設住宅着工戸数	+5.8%	Δ2.8%

出所：国土交通省

売上高

(億円)



売上高 前年同期比+14.6%

スマートフォンをはじめとした半導体関連の設備投資需要が高まり、電子部品及び制御機器の販売が増加したことに加え、システム提案によるアセンブリ商品の販売が好調。

参考指標

	前年同期比	
	FY16	FY17
電気制御機器国内出荷額	+2.2%	+8.6%
電子部品・デバイス生産実績	Δ5.9%	+6.6%

出所：日本電気制御機器工業会
電子情報技術産業協会

売上高

(億円)



売上高 前年同期比+6.4%

ルームエアコン出荷台数の増加を背景に、空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」の売上が伸長したほか、銅価格の上昇に伴う値上げなどにより、被覆銅管が増収。加えて、(株)パトライトにおいて海外向けを中心に積層信号灯などの販売が好調。

自社ブランド

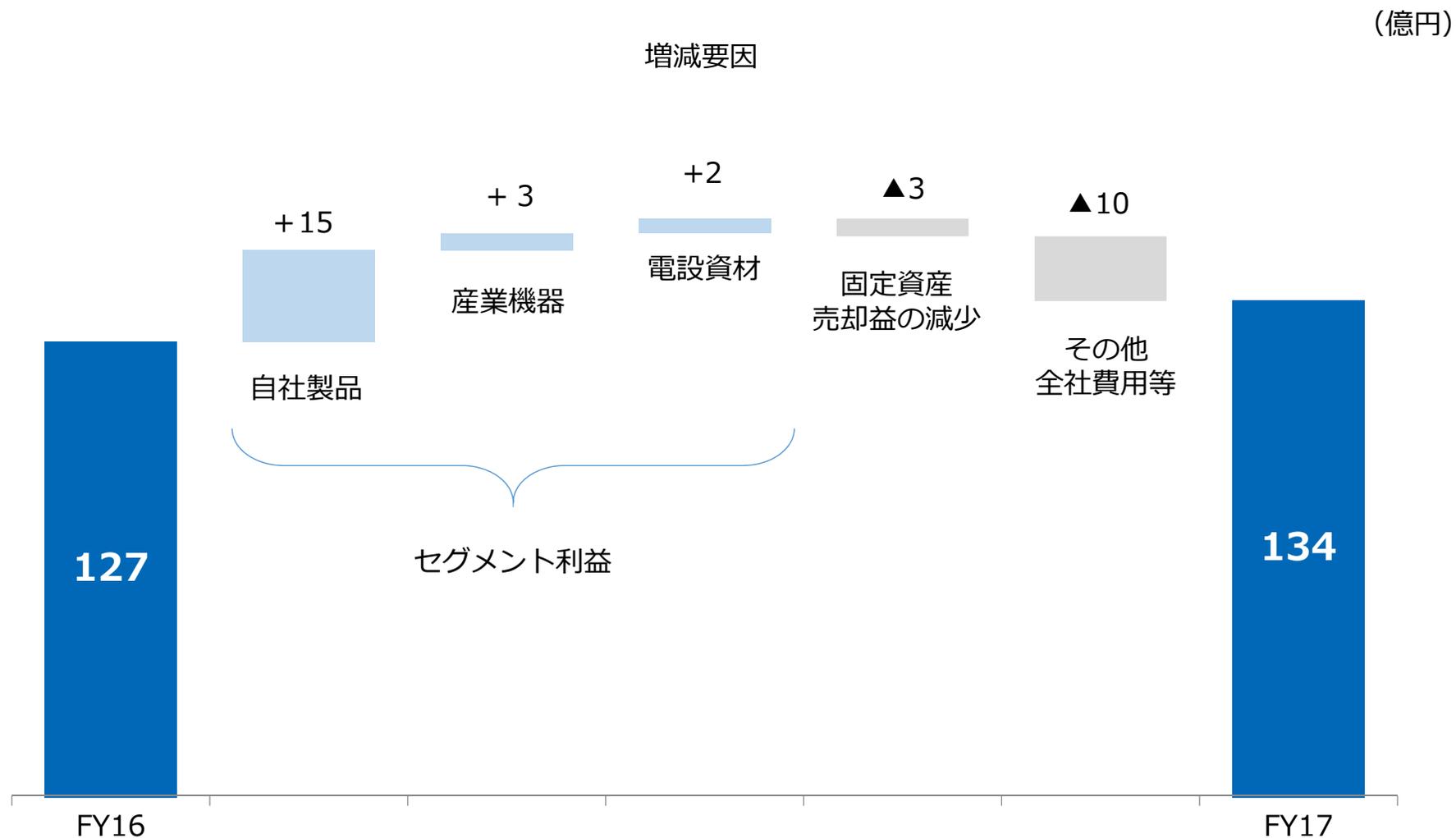
INABA DENKO

Abaniact

PATLITE

KASUGA

税金等調整前当期純利益



連結貸借対照表

(百万円)

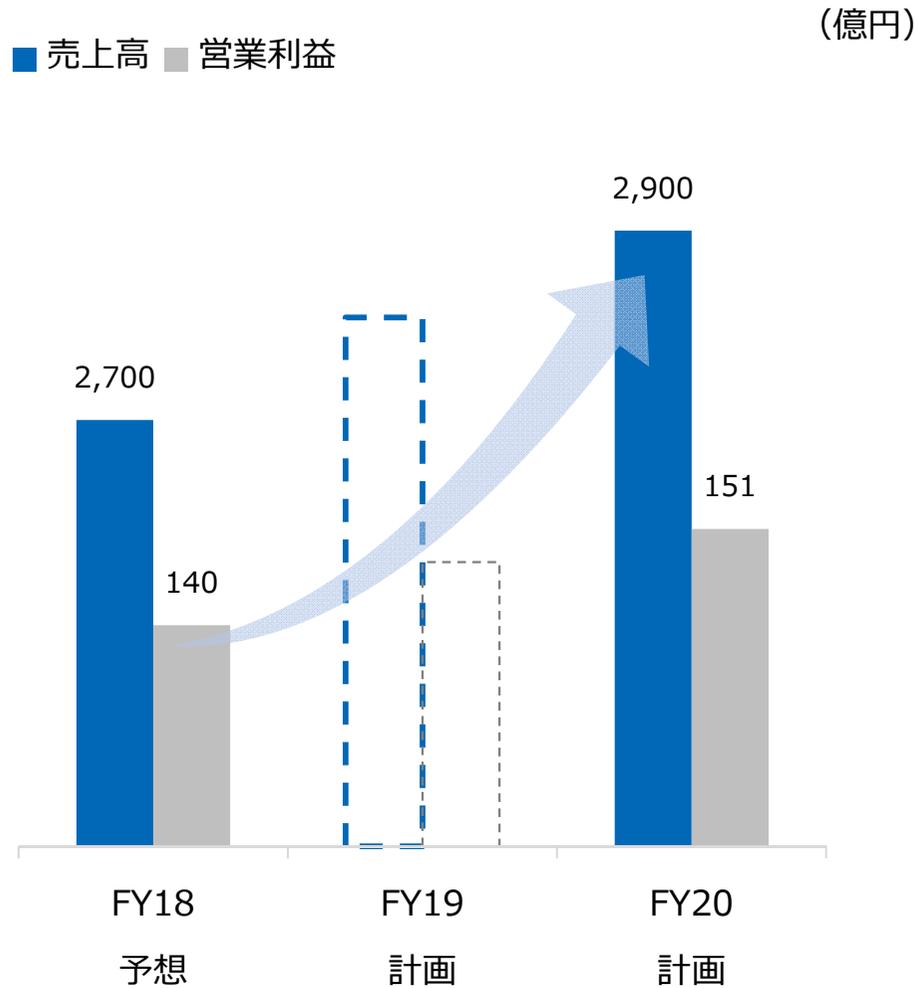
	FY16	構成比	FY17	構成比	増減額	増減率
流動資産	136,222	76%	156,460	79%	20,238	15%
固定資産	43,178	24%	41,507	21%	-1,670	-4%
資産合計	179,401		197,968		18,567	10%
流動負債	61,885	34%	71,177	36%	9,292	15%
固定負債	7,277	4%	7,861	4%	584	8%
負債合計	69,162	39%	79,039	40%	9,876	14%
純資産合計	110,238	61%	118,928	60%	8,690	8%

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

		FY16	FY17	増減額
営業キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	12,746	13,483	737
	仕入債務の増減額	-3,136	7,694	10,831
	売上債権の増減額	567	-8,795	-9,363
	棚卸資産の増減	2,592	-2,774	-5,367
	その他	-2,026	-5	2,021
	合計	10,743	9,602	-1,141
投資キャッシュ・フロー		824	561	-262
財務キャッシュ・フロー		-3,438	-2,001	1,437
	現金及び現金同等物期末残高	50,553	58,872	8,318

中期経営計画



重点施策

自社製品の開発・拡充

省エネ・
省力化ソリューションの推進

首都圏市場における
シェア拡大

グローバル展開の加速

INABA DENKO



Abaniact



PATLITE



KASUGA



JAPPY



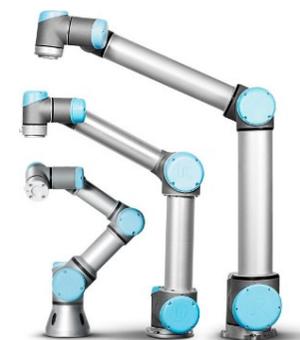
環境配慮型商品

LED照明、太陽光発電など環境に配慮した商品を拡販



協働ロボット

省力化に向けた協働ロボットの導入、システム構築などを支援



ユニバーサルロボット URシリーズ



ABB YuMi



川崎重工 duAro

首都圏市場におけるシェア拡大

東京オリンピック

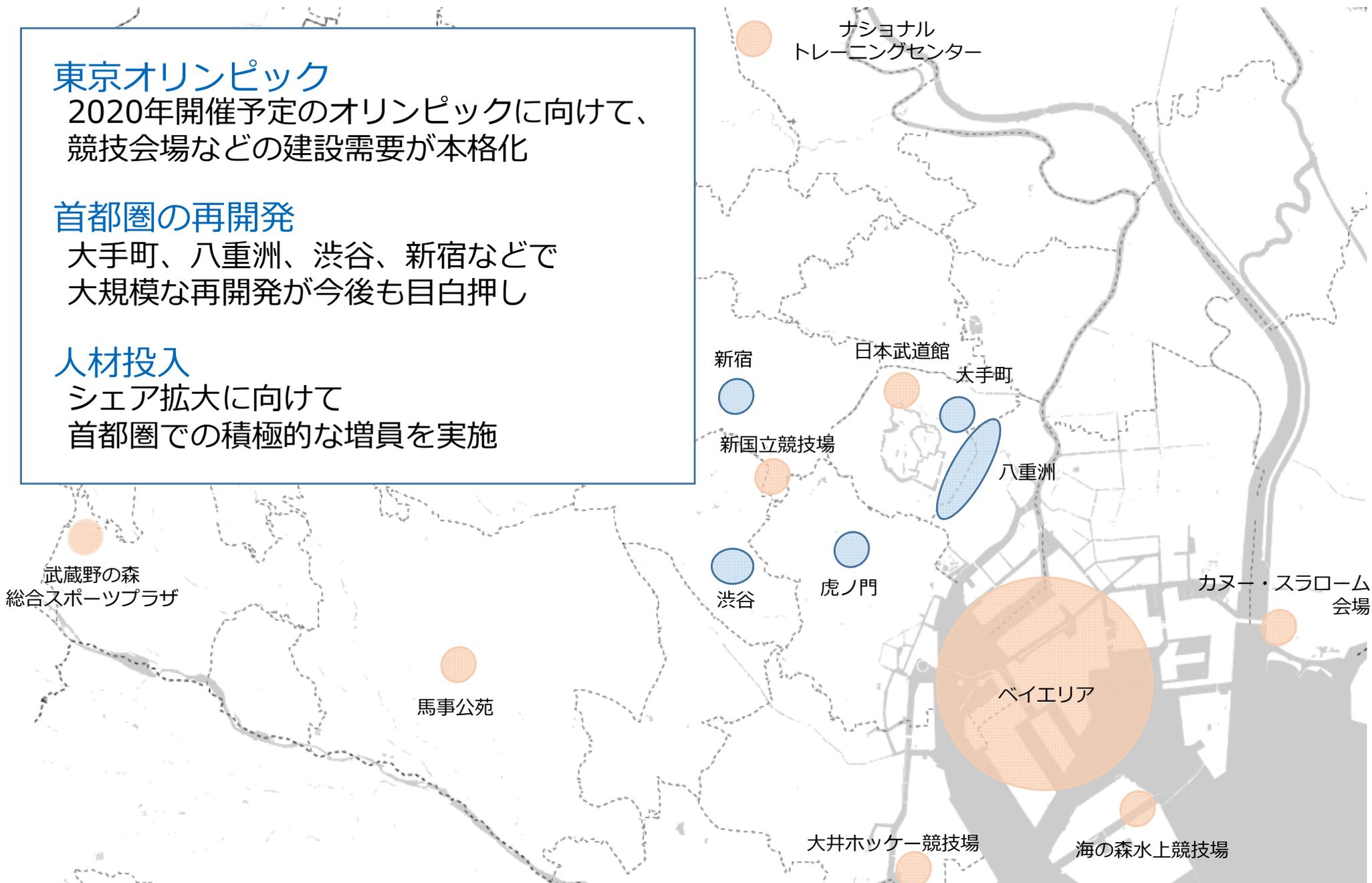
2020年開催予定のオリンピックに向けて、
競技会場などの建設需要が本格化

首都圏の再開発

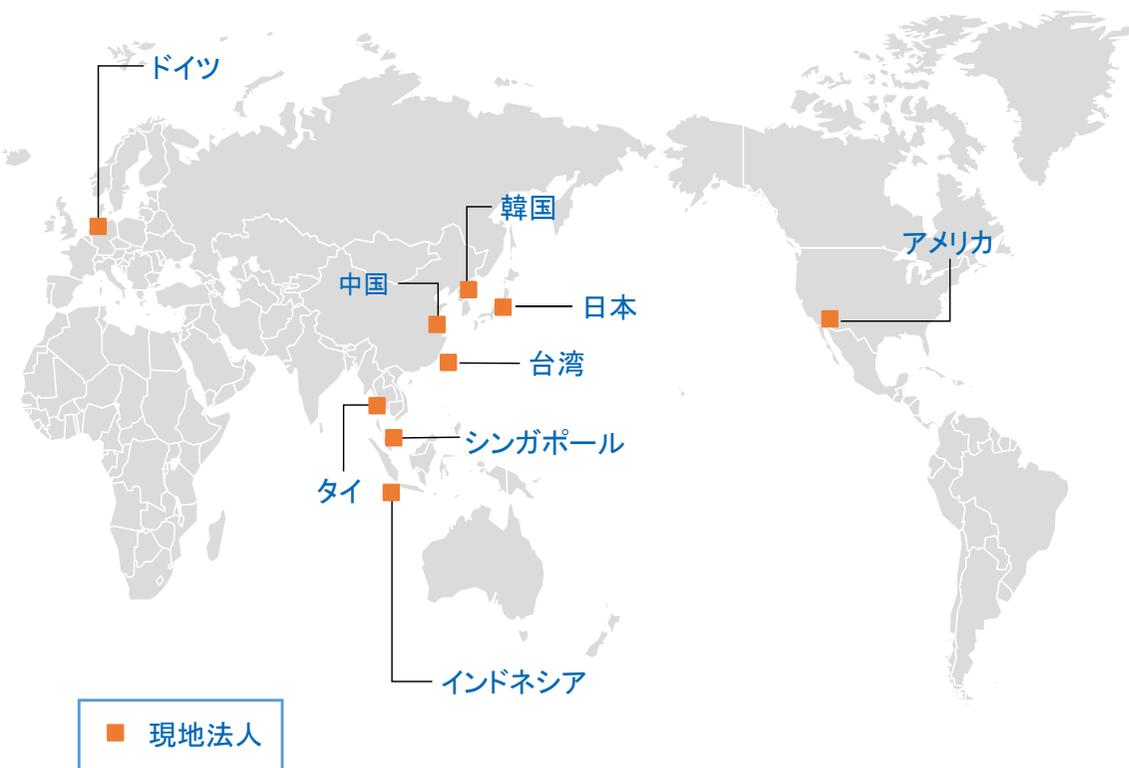
大手町、八重洲、渋谷、新宿などで
大規模な再開発が今後も目白押し

人材投入

シェア拡大に向けて
首都圏での積極的な増員を実施



グループ一丸で海外展開を推進



PATLITE × **KASUGA**

グローバルな海外販路の拡充を目指す
春日電機との経営統合に伴い、
端子台などの海外販売を強化



空調部材の海外生産拠点として、
24時間稼働の生産体制を構築

2019年3月期 業績予想

(百万円)

	FY17	構成比	FY18	構成比	増減額	増減率
売上高	258,107	100%	270,000	100%	11,892	4.6%
営業利益	13,378	5.2%	14,000	5.2%	621	4.6%
経常利益	13,559	5.3%	14,200	5.3%	640	4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,866	3.4%	9,300	3.4%	433	4.9%

(セグメント別売上高)

電設資材	171,896	67%	180,000	67%	8,103	4.7%
産業機器	31,834	12%	34,000	13%	2,165	6.8%
自社製品	54,376	21%	56,000	21%	1,623	3.0%

基本方針

配当や自社株買いを合わせた中期的な総還元性向を50%程度とする

